令和８年度「日本ワインミュージアム（仮称）」設置に係る基本構想の策定に向けた提言（概要）

令和8年10月

コンセプト

- 楽しみながら日本ワインの理解が深まり、全国の産地・ワイナリーへの関心と訪問につながる拠点

ビジョン

- 日本ワイン発祥の地であり、全国最大の生産地である山梨県から、日本ワインを育む風土、人、文化、歴史の魅力を発信する
- 可能な限り幅広い層の国内外の人々が、楽しみながら日本ワインに出会い、学び、ファンになることを目指す
- 全国の産地・ワイナリーとつなぐ拠点として、それぞれへの関心と訪問意欲を高め、ワインツーリズムの発展に貢献する

ターゲット

- 可能な限り幅広い層の国内外の人々：ワイン未経験・初心者～愛好家、ソムリエ、飲食店、流通事業者、ワイン醸造家、ブドウ栽培家等
- インバウンド：日本ワインの歴史、地域固有品種、食文化を訴求

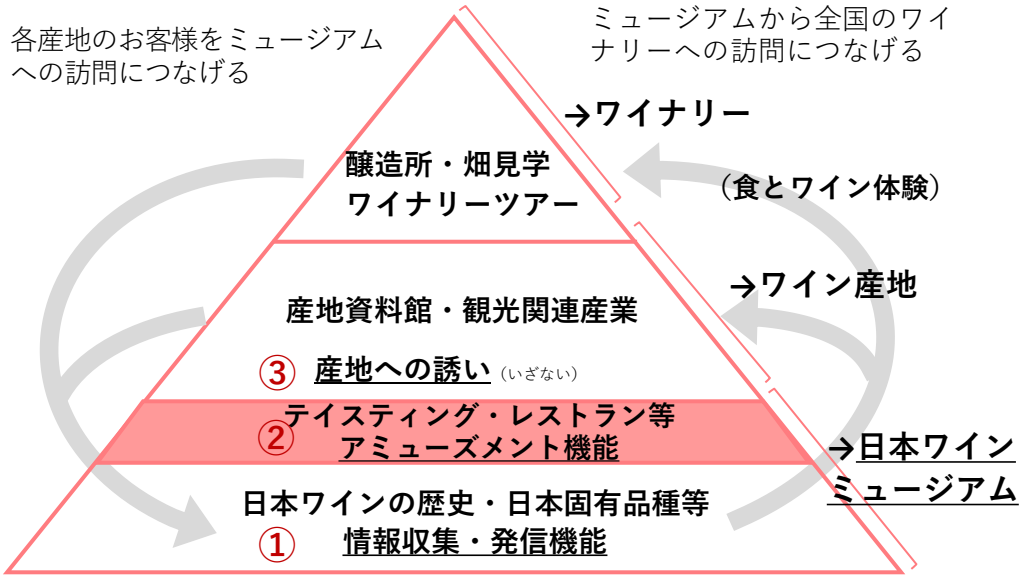
機能

情報収集・発信機能	日本ワインの源流、日本のブドウ・ワインの歴史展示、日本固有品種、産地紹介（気候・風土）など
アミューズメント機能	全国のワイン販売（日本ワインコンクールとの連携）、各産地の料理・食材とワインとのペアリング提案など
産地へつながる機能	全国の産地・ワイナリー紹介機能、各産地の醸造家によるワイン会など

立地、設置・運営体制

- 立地：駅近など車以外のアクセス良好な県有地に加え、市町村有地等の公募
- 設置・運営体制：民設民営方式を含め、最適な設置・運営方式や公的支援の在り方を検討　ワイナリーへ繋ぐことができるスタッフの配置

概念図



課題

- 候補地の具体化
- 公的支援の在り方
- 各ステークホルダー（行政・民間・ワイン専門家・全国の産地・団体等）の役割分担、連携体制構築
- 民間事業者（設置・運営）からの意見聴取

今後、県として日本ワインミュージアム設置を具体化する際には、本有識者会議の報告内容を十分に踏まえた上で、検討されたい。